

2016年3月期 連結決算説明資料

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2016年3月期は“15F”となります

2016年5月



EIZO株式会社 (6737)

品目別売上の名称変更及び区分変更

当社は、強みである映像技術を活かし、使用ニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提案する「Visual Technology Company」を目指した事業展開を進めております。この経営方針の下、当期より品目別売上高の情報を次のように変更しております

名称	「コンピュータ用モニター」としていた名称を「映像表示システム」に変更
集計方法	グラフィックスボード、品質管理ソフトウェアや各種周辺機器等の売上高を「その他」から「映像表示システム」に含めて集計 *過年度との比較のために、過年度の数値を変更後の区分に組み替えております

また、当社は、メディカル、グラフィックス及び産業の特定市場での事業拡大、成長を重点施策のひとつとしております。特定市場は、高品位・高品質・高信頼性、及び多様な顧客要求や使用環境に適応した映像ソリューションの提案・提供が幅広く求められる市場です。この背景のもと、「特定市場」の名称を下記のように変更することにいたしました

変更前	変更後
特定市場 ・メディカル ・グラフィックス ・産業	V&S (Vertical & Specific) 市場 ・ヘルスケア ・クリエイティブワーク ・インダストリー

連結損益計算書

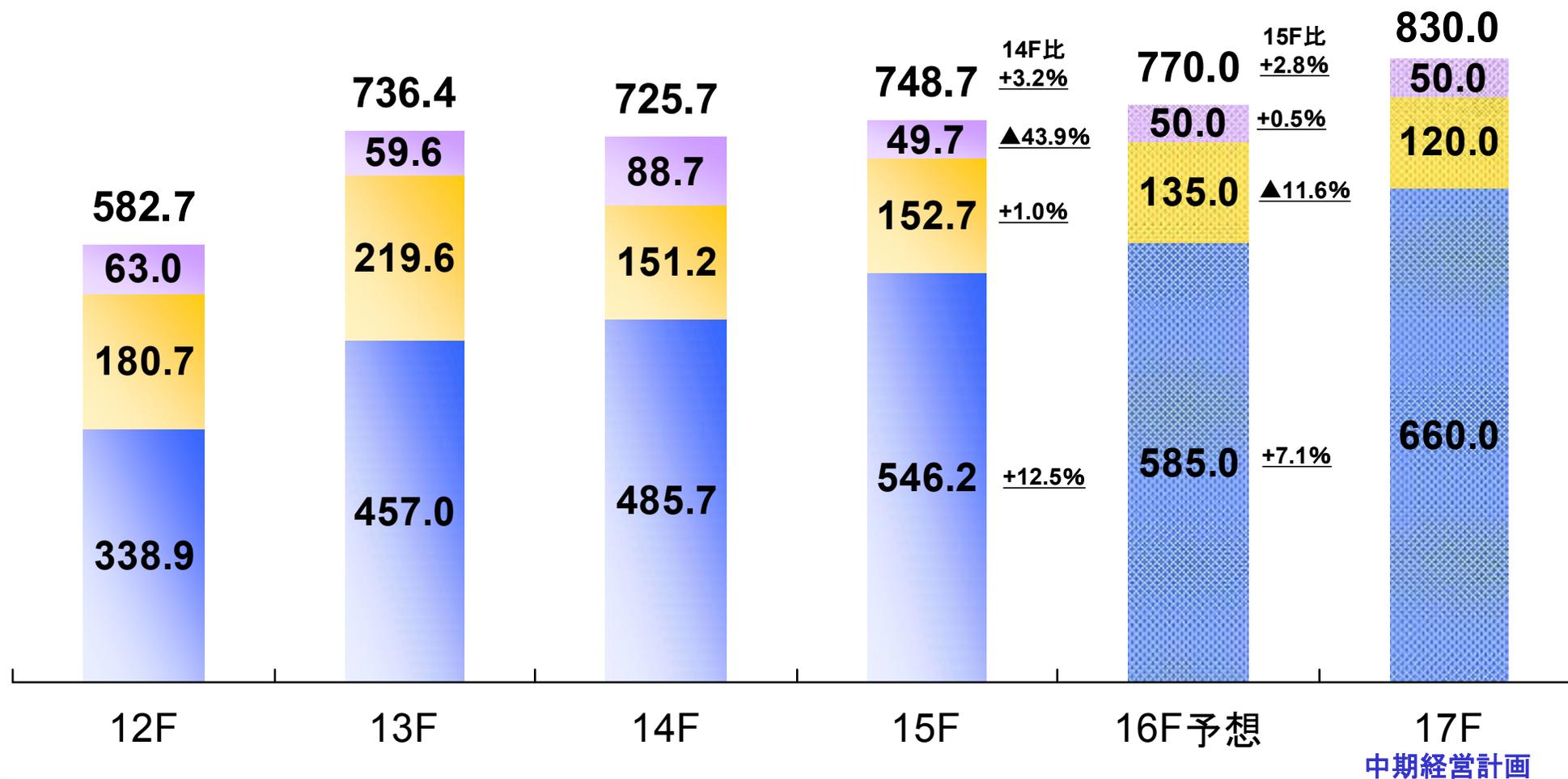
(百万円)

	14F		15F		前期比 増減額	16F予想		前期比 増減額
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)		金額	売上高比 (%)	
売上高	72,576	100.0	74,878	100.0	+2,302	77,000	100.0	+2,121
売上原価	50,795	70.0	52,883	70.6	+2,088	53,700	69.7	+816
売上総利益	21,781	30.0	21,995	29.4	+213	23,300	30.3	+1,304
販売費及び 一般管理費	17,309	23.8	16,914	22.6	▲394	17,600	22.9	+685
営業利益	4,472	6.2	5,081	6.8	+608	5,700	7.4	+618
営業外損益	232	0.3	617	0.8	+385	400	0.5	▲217
経常利益	4,704	6.5	5,698	7.6	+993	6,100	7.9	+401
税金等調整前 当期純利益	4,704	6.5	5,639	7.5	+934	6,100	7.9	+460
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,321	4.6	4,202	5.6	+880	4,400	5.7	+197
為替レート: USD	109.76円		120.16円			110.00円		
為替レート: EUR	138.69円		132.60円			120.00円		

連結売上高推移

(億円)

■ 映像表示システム ■ アミューズメント用モニター ■ その他



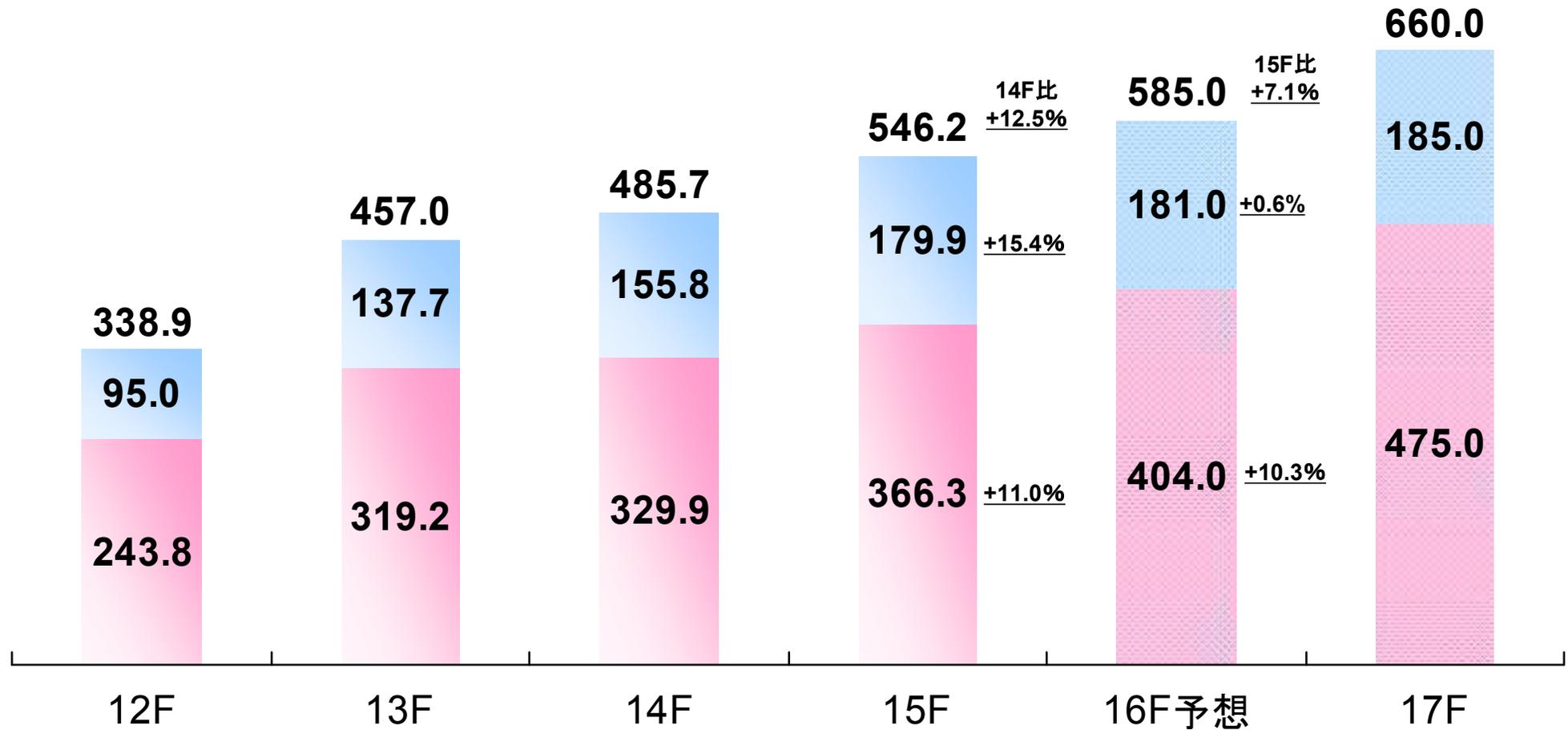
連結売上高推移

映像表示システム - 合計 -

(億円)

■ V&S市場 ■ B&P市場

*映像表示システムの内訳について、従来の「一般用途」を「Business & Plus (B&P)」、
「特定市場」を「Vertical & Specific (V&S)」と名称変更



中期経営計画

連結売上高推移

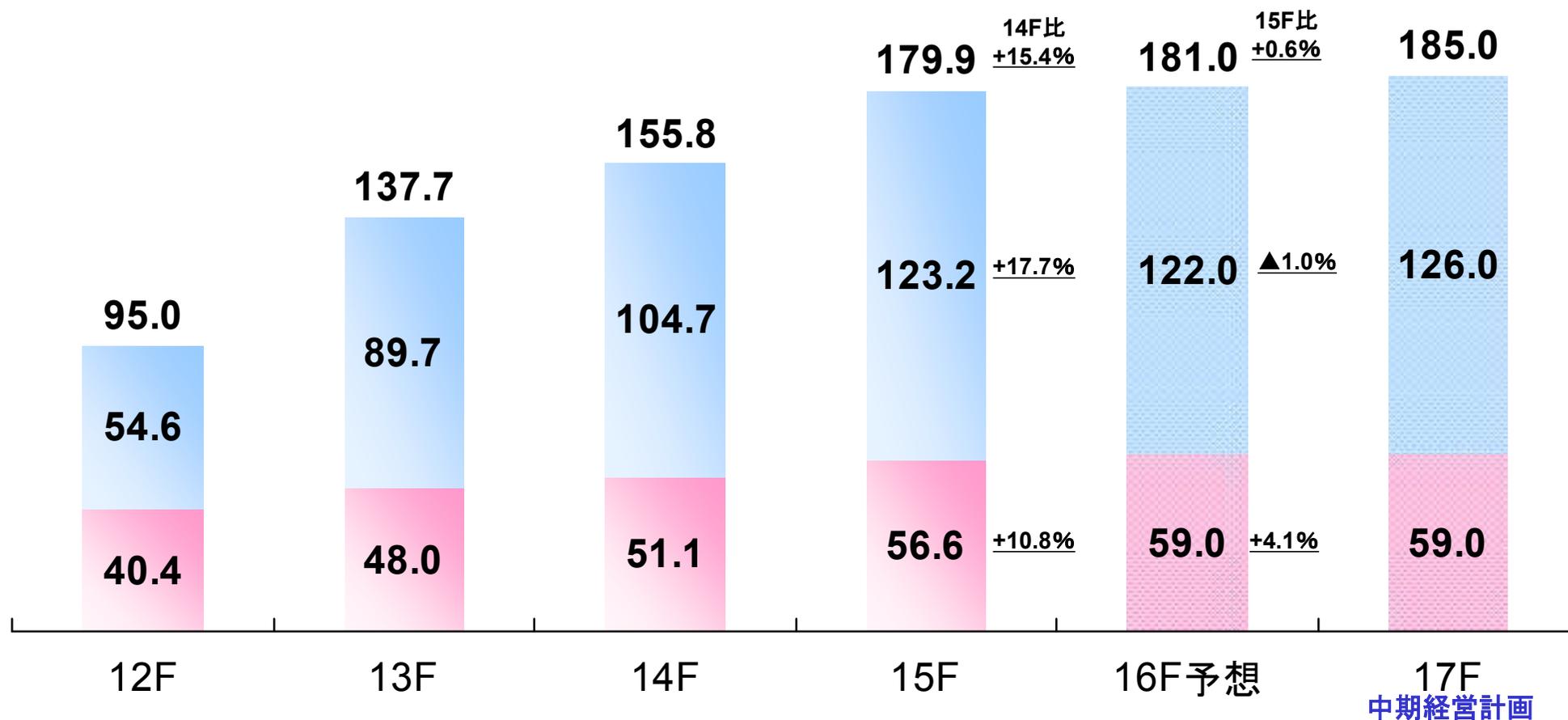
映像表示システム - B&P市場 -

(億円)

■ 国内 ■ 海外

*従来の「一般用途」を「Business & Plus (B&P)」と名称変更。
B&Pは、プロフェッショナルなビジネス用途からハイエンドなプライベートユーザーまで様々な用途に対応した映像表示システム

・海外、国内共にフレームレス液晶モニターの販売が好調に推移し、前期比で増収となった



連結売上高推移

映像表示システム - V&S市場 -

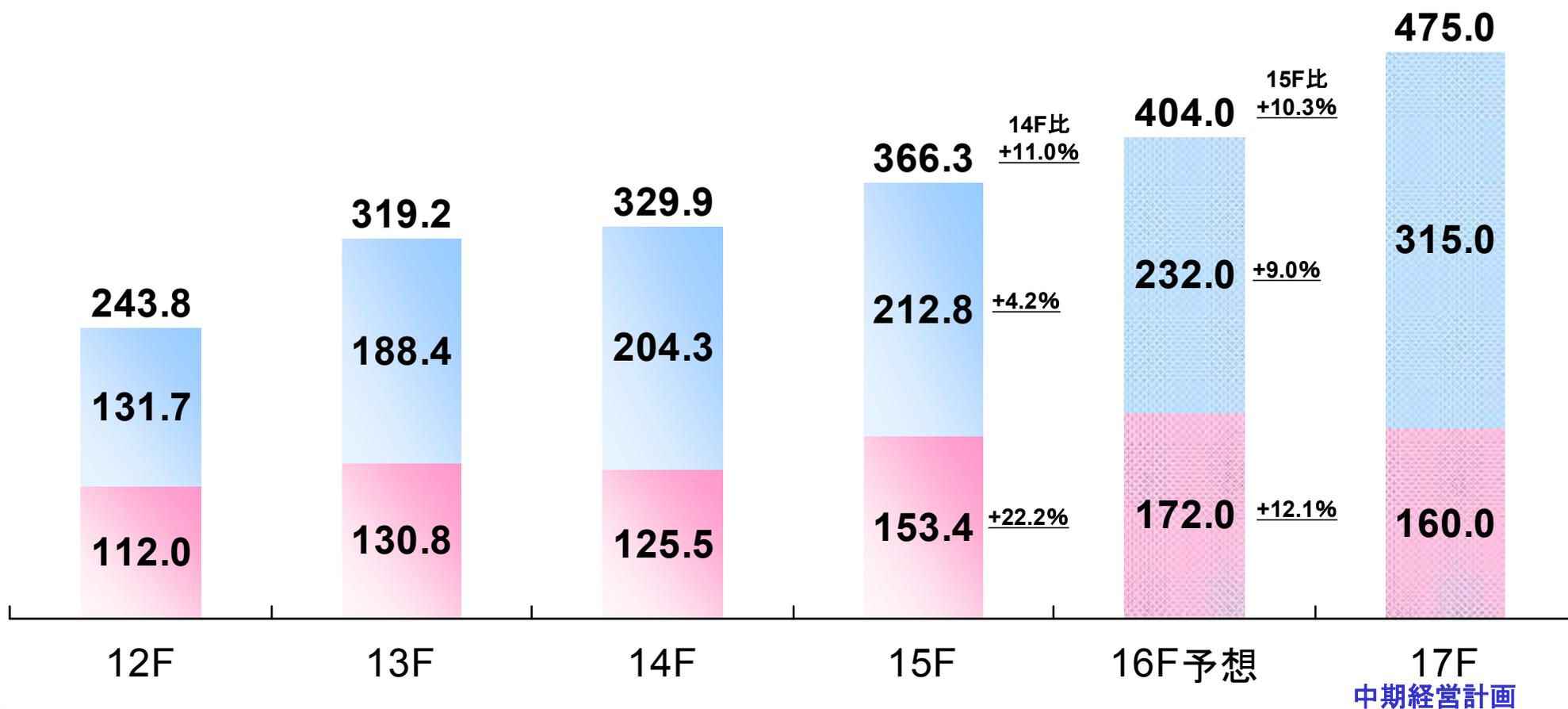
(億円)

■ 国内 ■ 海外

*従来の「特定市場」を「Vertical & Specific(V&S)」と名称変更。

V&Sは、ヘルスケア、クリエイティブワーク及びインダストリー市場において、高品位・高品質・高信頼性及び多様な顧客要求や使用環境に適応した映像ソリューション

・ヘルスケア、クリエイティブワーク市場向けの販売が好調に推移し、前期比で増収となった



連結売上高推移

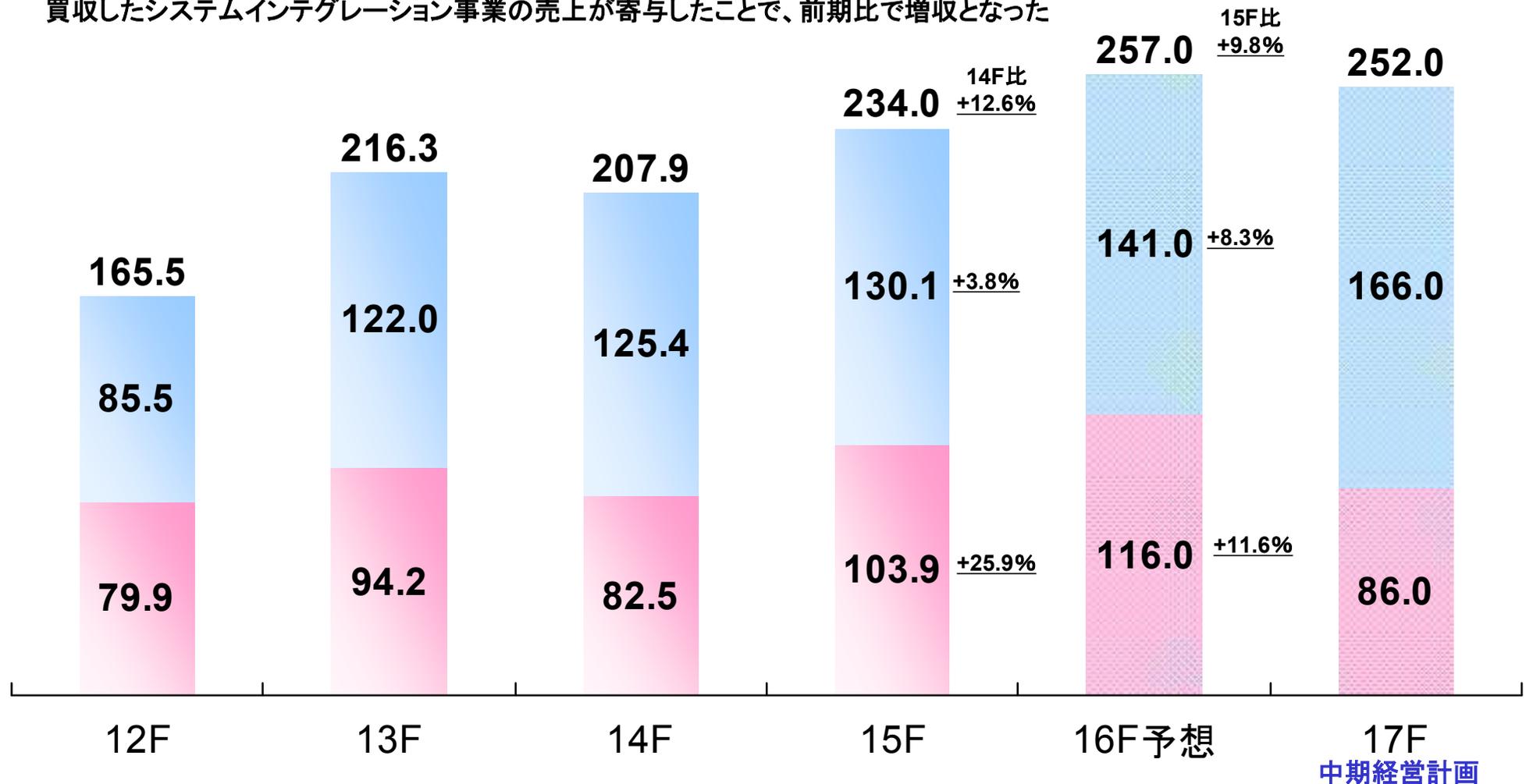
V&S市場：ヘルスケア

(億円)

*従来の「メディカル」を「ヘルスケア」に名称変更

■ 国内 ■ 海外

・海外、国内ともに診断用途の販売が好調であったことに加え、2015年10月にイメーション(株)より買収したシステムインテグレーション事業の売上が寄与したことで、前期比で増収となった



連結売上高推移

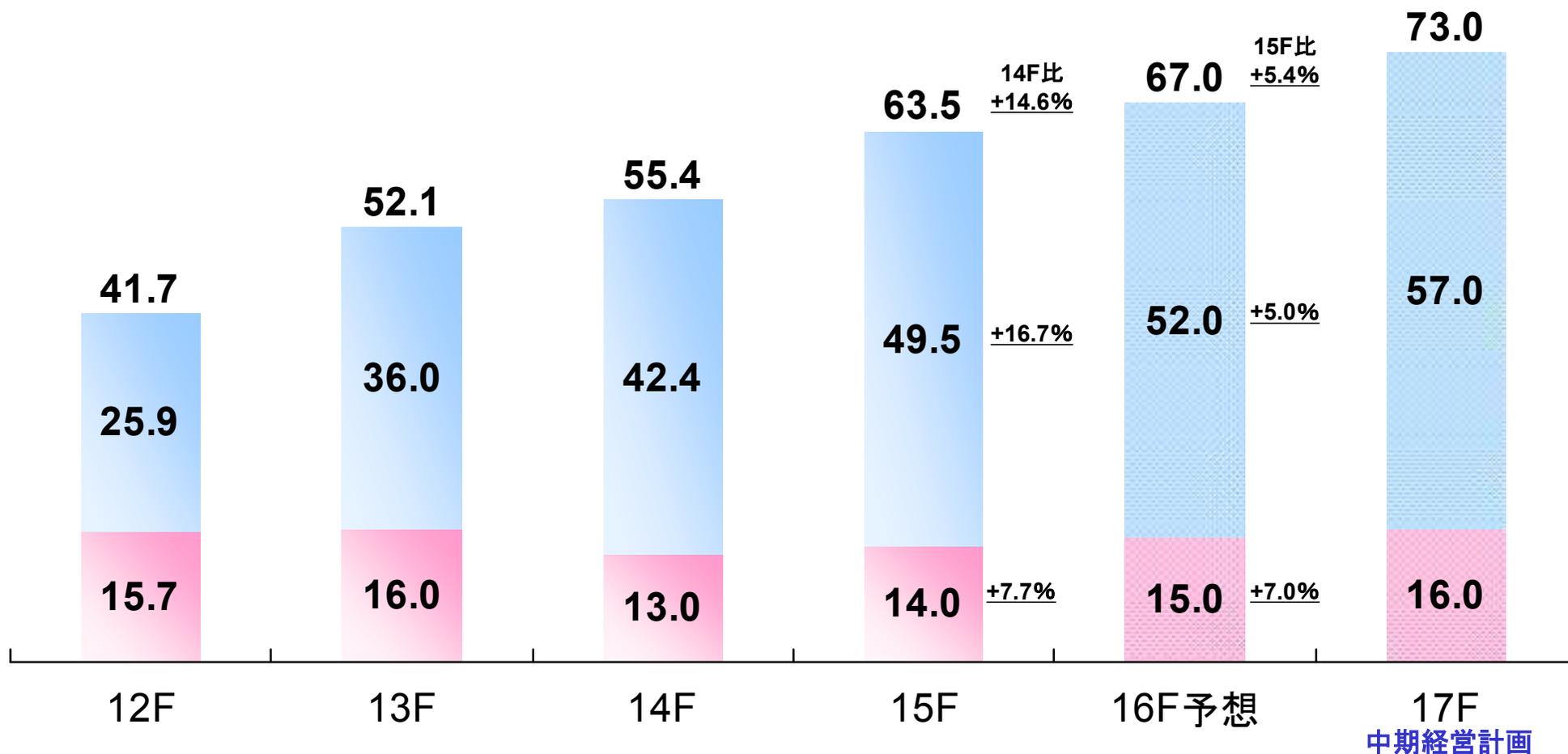
V&S市場：クリエイティブワーク

(億円)

*従来の「グラフィックス」を「クリエイティブワーク」に名称変更

■ 国内 ■ 海外

・海外では映像制作市場への拡販が進み、またエントリーモデルであるグラフィックス用液晶モニターのCSシリーズの販売が増加し、国内では4K対応の新機種の販売が好調に推移したことで、前期比で増収となった



連結売上高推移

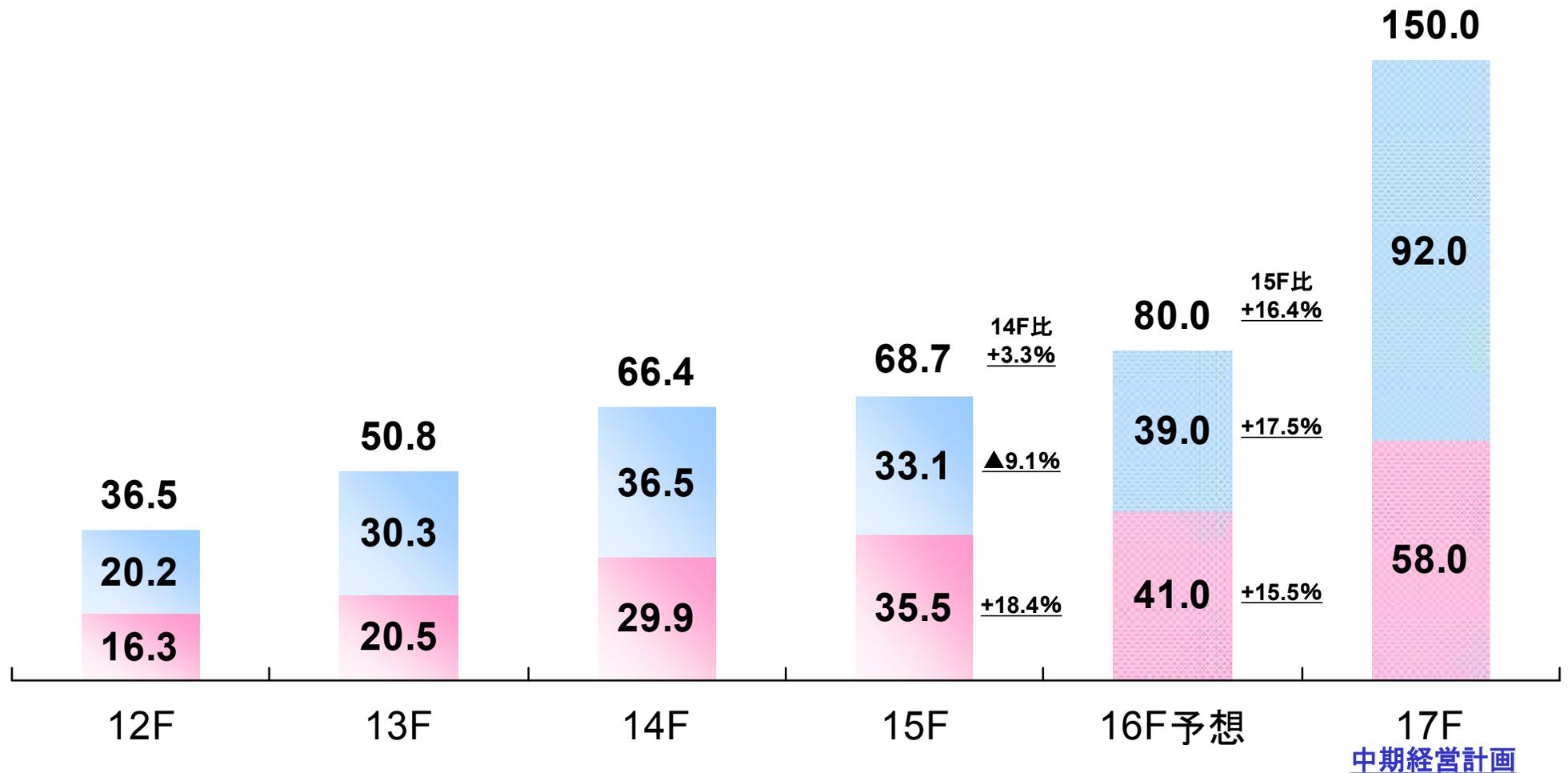
V&S市場：インダストリー

(億円)

*従来の「産業」を「インダストリー」に名称変更

■ 国内 ■ 海外

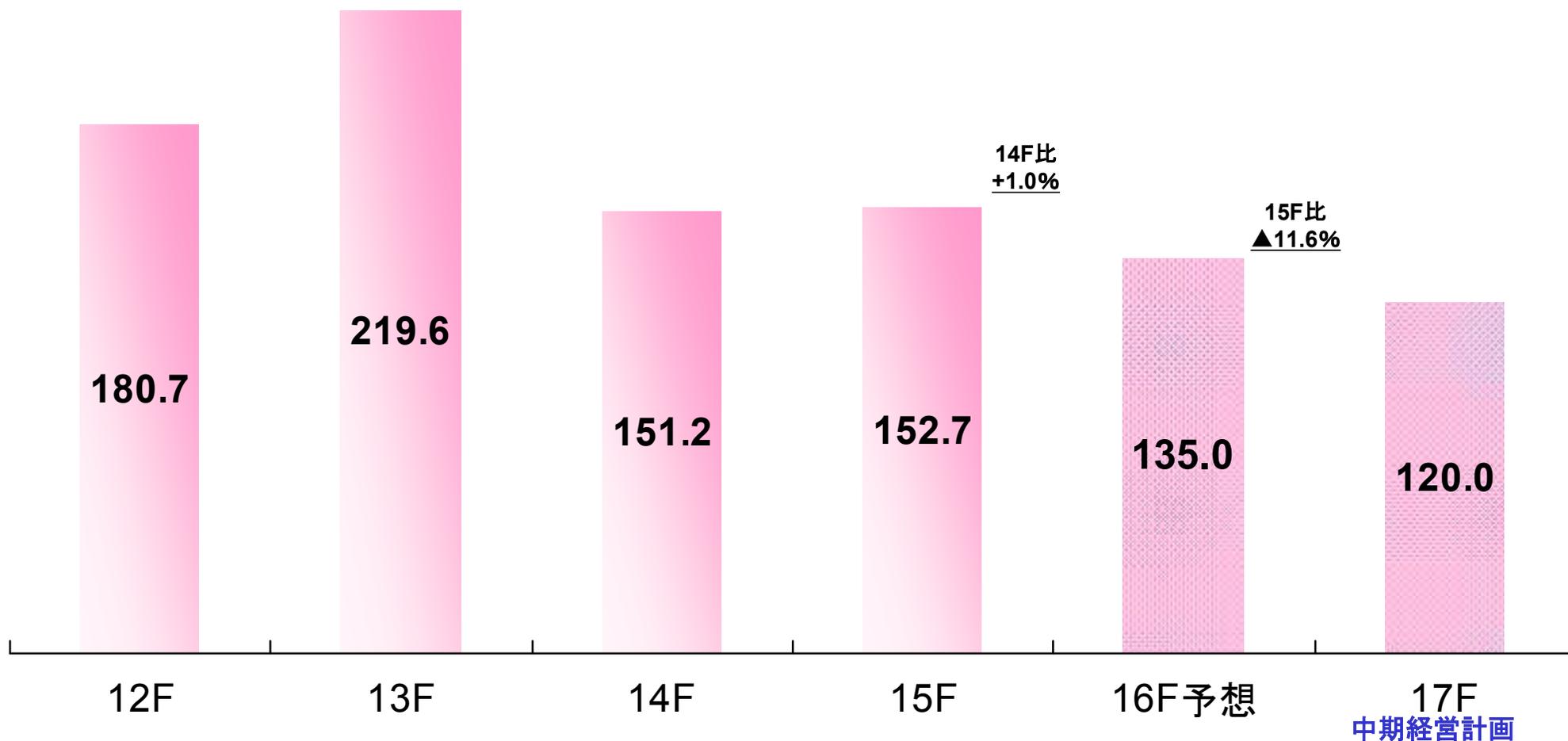
・国内で航空管制や船舶向けを中心に販売が増加し、前期比で増収となった



連結売上高推移 アミューズメント用モニター

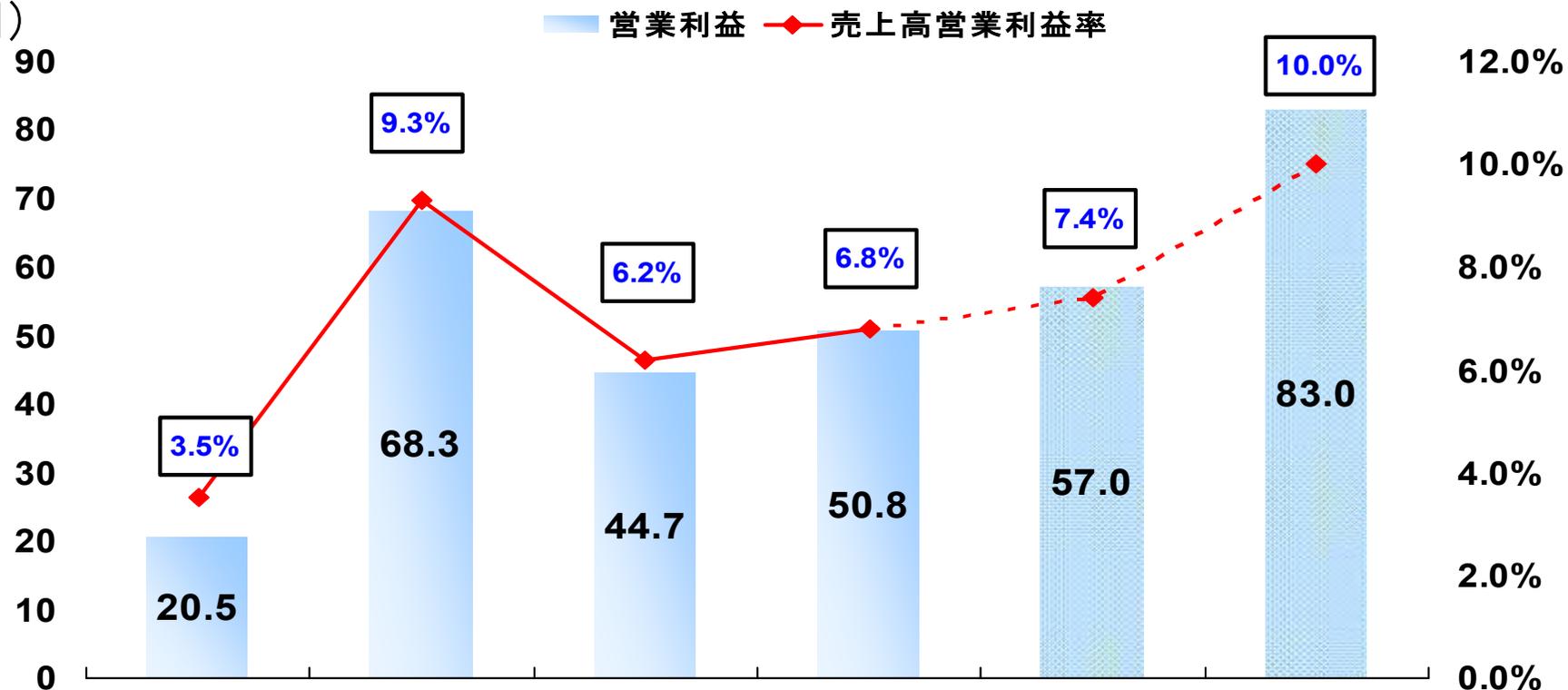
(億円)

・嗜好の多様化や遊技人口の減少、自主規制の適用等、市場環境が厳しい中、前期並みを維持



営業利益推移

(億円)



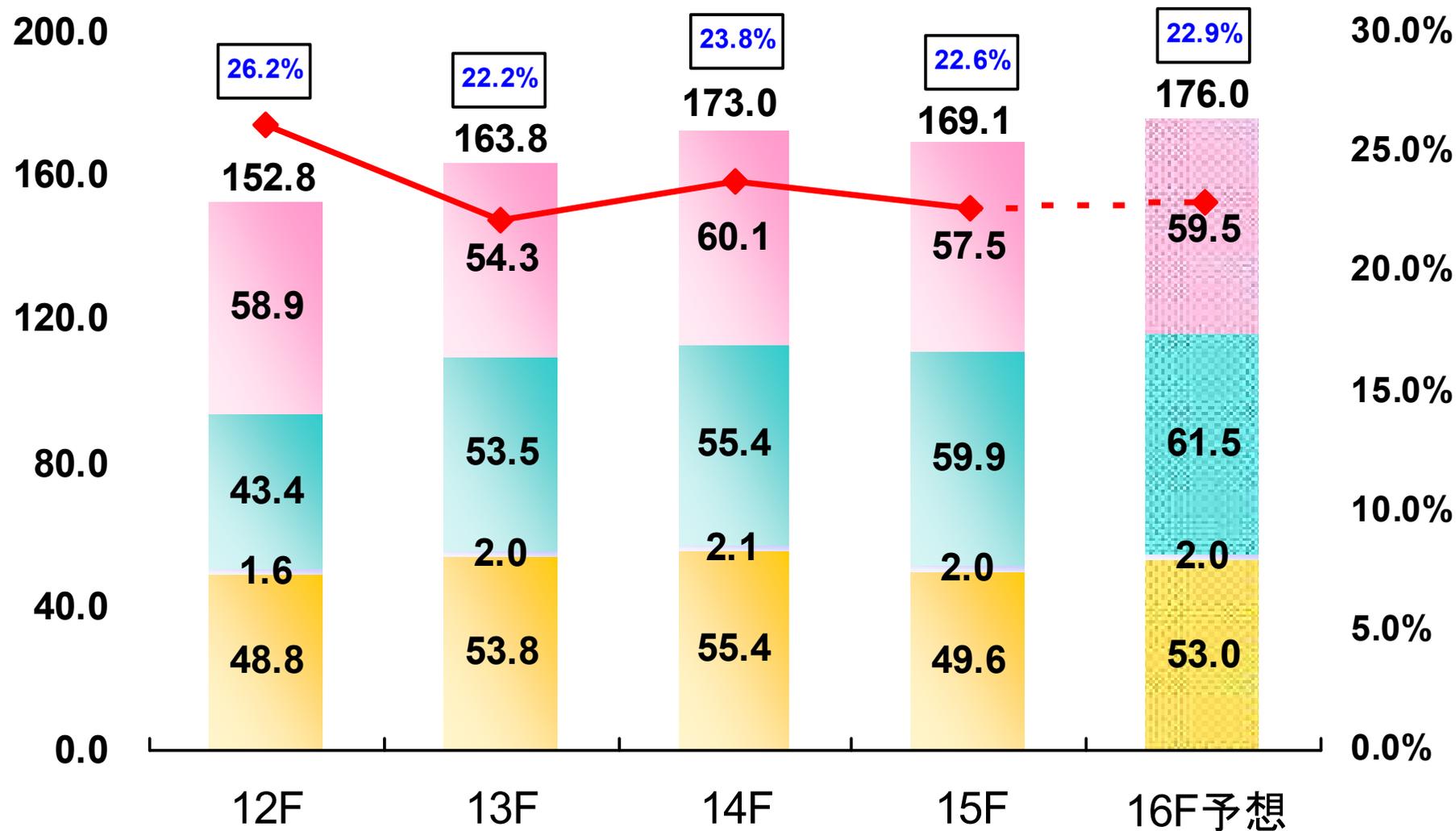
	12F	13F	14F	15F	16F 予想	17F 中期経営計画
ROA (%)	4.0	9.3	4.7	5.4	5.7	
ROE (%)	2.7	8.3	4.5	5.3	5.5	
DOE (%)	1.8	1.8	1.7	1.9	2.1	
EBITDA (億円)	44.2	97.0	67.2	77.5	83.1	

ROA(総資産経常利益率): 経常利益 ÷ 総資産(期首・期末平均) ROE(自己資本当期純利益率): 当期純利益 ÷ 自己資本(期首・期末平均)
 DOE(自己資本配当率): 年間配当金総額 ÷ 自己資本(期首・期末平均) EBITDA: 税引前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん等償却費+減損損失

販売費及び一般管理費推移

(億円)

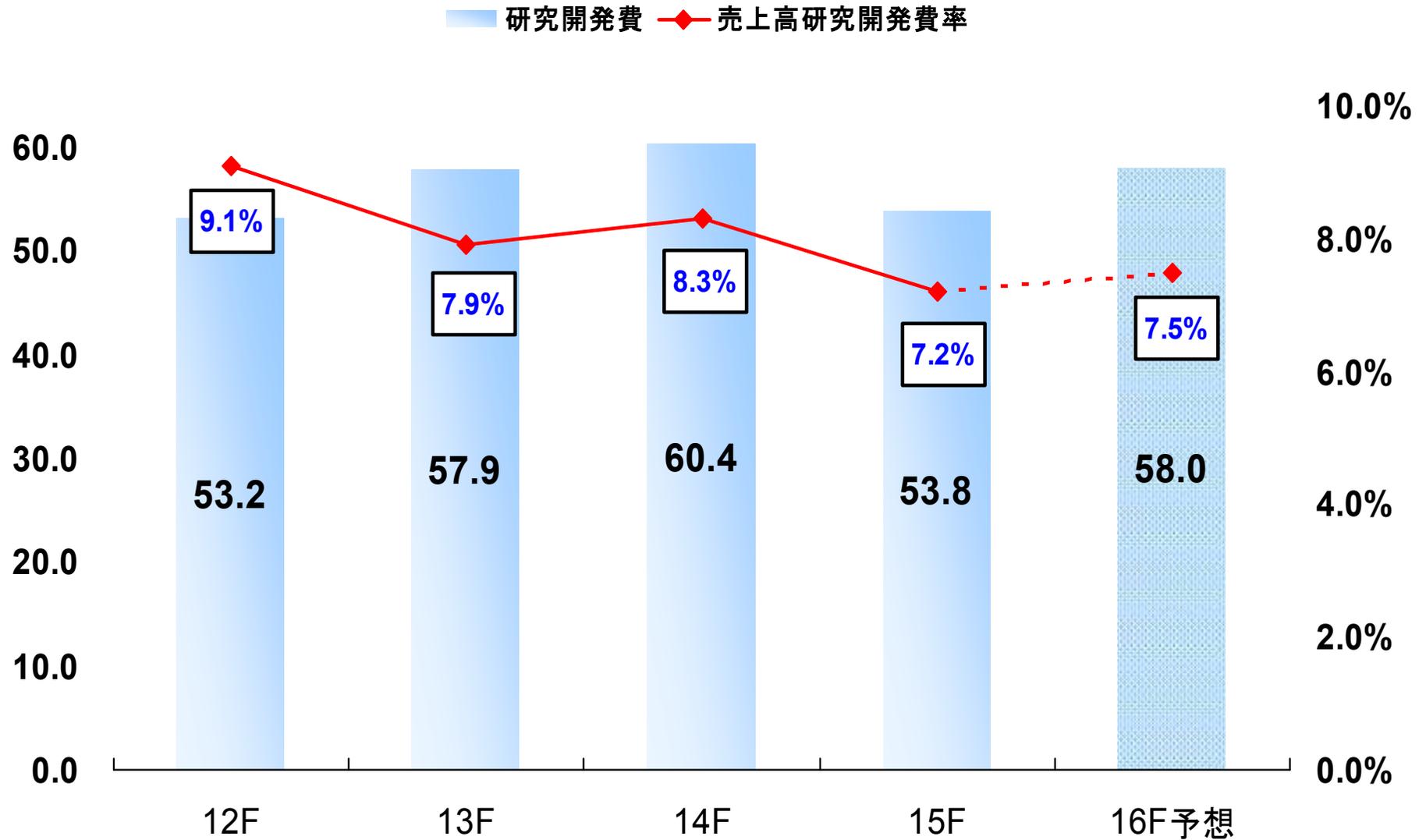
■ 研究開発費
 ■ のれん等償却
 ■ 人件費
 ■ その他販管費
 ◆ 売上高販管費比率



研究開発費推移

(億円)

・V&S市場向けの研究開発を積極的に行う一方、アミューズメント市場の環境の変化に対応した構造改革を図ったこと等から、前期比で減少となった



※研究開発費は製造費用計上分を含む



設備投資推移

(億円)

60

■ 設備投資(金型含む) ■ 減価償却費(金型含む)

15F: 本社新工場棟建設 31.3億円含む

16F: ドイツ子会社 管理・開発・工場棟建設 17.9億円、MIL規格関連建物 8.8億円等を予定

50

40

30

20

10

0

21.1

15.8

13.8

16.8

14.1

20.1

48.1

20.5

45.6

22.1

12F

13F

14F

15F

16F予想

連結貸借対照表

(百万円)

	15年3月末 (前期末)		16年3月末 (当期末)		前期末比
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額
現金及び預金	6,522	6.1	7,221	6.9	+698
受取手形及び売掛金	17,502	16.4	17,138	16.4	▲364
たな卸資産	25,006	23.5	23,911	22.8	▲1,094
その他の	14,396	13.5	16,501	15.7	+2,105
流動資産	63,428	59.5	64,772	61.8	+1,344
有形固定資産	7,983	7.5	11,001	10.5	+3,018
その他の	35,107	33.0	29,018	27.7	▲6,089 ※
固定資産	43,091	40.5	40,019	38.2	▲3,071
資産計	106,519	100.0	104,792	100.0	▲1,727
買掛金	5,854	5.5	5,994	5.7	+139
流動負債	15,855	14.9	17,482	16.7	+1,626
固定負債	11,370	10.7	9,298	8.9	▲2,071 ※
純資産	79,293	74.4	78,011	74.4	▲1,282 ※
負債・純資産計	106,519	100.0	104,792	100.0	▲1,727

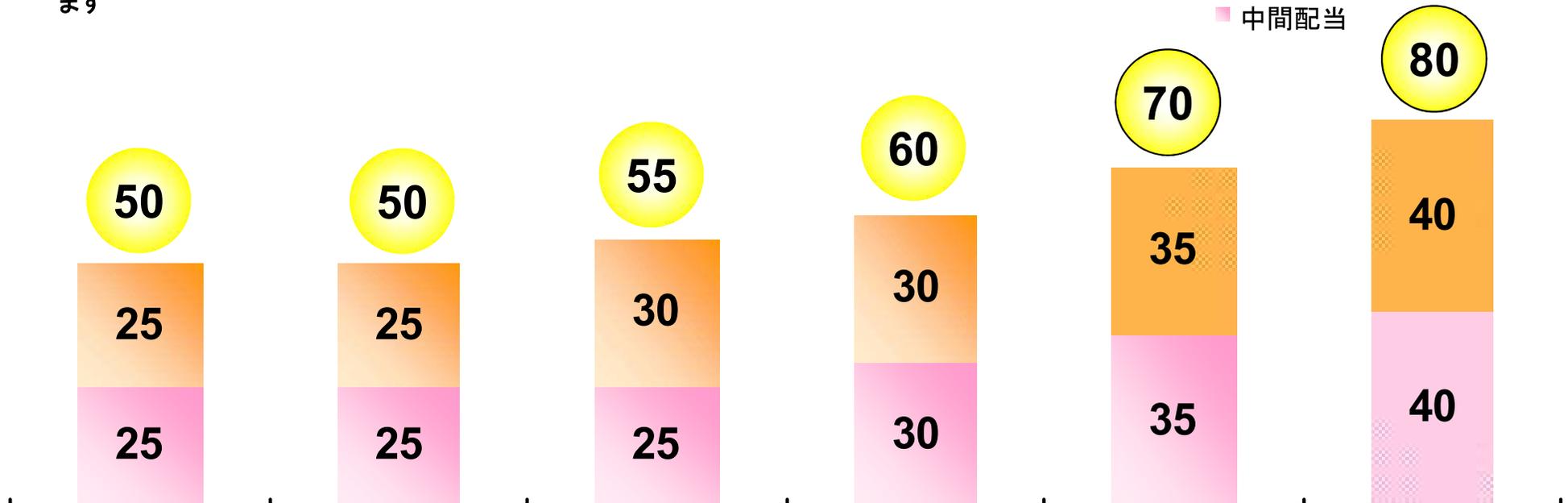
※保有株式の時価変動により、投資有価証券の評価額、繰延税金負債及びその他有価証券評価差額金の減少を含む

株主還元

●株主還元方針

- ・当社は、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としており、今後の事業拡大のための設備や研究開発投資に必要な内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案しながら、配当や自己株式取得等の株主還元を実施してまいります
- ・株主への還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の40%~50%を目標水準としております

(円/株)



	11F	12F	13F	14F	15F 予想	16F 予想
配当性向	67.5%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	38.8%
還元率	168.0%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	38.8%

※ 配当性向は連結ベース 15F期末及び16F配当は予想

※自己株買入 11F 1,661百万円

EIZO株式会社

〒924 - 8566 石川県白山市下柏野町153番地

○お問合せ 担当：IR室 有生(ありせ)
電話番号：076-275-4121

www.eizo.co.jp